

令和2年度使用 小学校社会科（社会）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができてきているか？」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のすすめ方は、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」で分類している。 ○ 毎回の小単元に、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のいずれかが課題と共に必ず明記され、どの単元においても同一の方法で色分けされており、区別しやすい。 ○ 「調べる」小単元では、ドラえもんが「見方・考え方」のヒントを提示しており、教科目標に示された「社会的な見方・考え方」の一助になっている。 ○ 「いかす」は次の学習にいかしたり、誰かに伝えたりする学習段階としており、その方法を具体的に紹介している。また、「いかす方法」として、地図の作成、提案文、標語、ポスター、クラスでの発表など様々な方法が示されている。 △ 「いかす方法」の種類は多いが、児童にとってはやや難しく感じる可能性がある。 <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で、資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か？」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図学習では、地図と写真が効果的に関連している。 ○ 浄水処理・ゴミ処理の仕組みが分かりやすくまとめられている。 ○ 歴史では、当時の様子を描いた絵などが多く、絵をもとに授業がしやすい。 △ 地形や気候では、写真が多く、耕地面積や気温等のデータが乏しい。 <p>＜「学習指導要領に定められた学習内容に対して、情報量が適切であり、内容の精選がされているか？」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車工場の組み立ての流れなど図や写真などは同じ大ききで示され、分かりやすい流れになっており、必要な情報量である。 △ 発展的な学習の「ひろげる」では、情報との関わりの中で三つの産業を扱っており、内容量の精選が必要である。
教育出版	<p>＜「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができてきているか？」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のすすめ方は、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」で分類している。 ○ 「まとめる」「つなげる」については、明記されている。 ○ 毎回の小単元にある「問い」から、次時につながる「次につなげよう」があり、学習が展開しやすくなっている。 △ 「つかむ」「調べる」についても、毎回明記されているとよい。また、「まとめる」方法として、表にして比べる、話し合う、関係図を作る、ノートにまとめるが扱われているが、もう少し種類があるとなおよい。 △ 色分けが、大単元ごとの区別になっている。単元での違いより、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」での色分けの方が、学習過程が分かりやすい。 <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で、資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か？」について＞</p>

	<p>○ 農業・製造業・小売業・消防・警察は、年間と1日の仕事の流れが分かりやすい。</p> <p>○ リサイクルの仕組みについて、わかりやすくまとめられている。</p> <p>○ 歴史では、想像図を使って、当時の様子を分かりやすくまとめている。</p> <p>△ 3年の地図学習では、町の様子の写真が多く、地図との関連性があまりない。</p> <p>＜「学習指導要領に定められた学習内容に対して、情報量が適切であり、内容の精選がされているか？」について＞</p> <p>○ 内容に関する読み物や文献資料が多く載せられている。また、「まとめる」では、児童の作品や言葉が多数使用されており、わかりやすい内容を示している。</p> <p>△ 関係者の話が多く載せられ、臨場感ある話が記述されているが、難しい言葉や内容があり、記述内容の精選が必要である。</p>
<p>日本文教 出版</p>	<p>＜「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができてきているか？」について＞</p> <p>・学習のすすめ方は、「見つける」「調べる」「まとめる」「つたえる」で分類している。</p> <p>○ 学習問題を立てる「見つける」のページに示された学習計画が分かりやすい。</p> <p>○ 端的にまとめられていて、児童が理解しやすい。</p> <p>○ 「つたえる」方法として、話し合う、キャッチコピーを作る、他学年に発表する、カードにまとめるなど様々な方法が示されている。</p> <p>△ 小単元名や課題と共に、「見つける」「調べる」「まとめる」「つたえる」が明記されていると、学習の流れが分かりやすくなってよい。</p> <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で、資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か？」について＞</p> <p>○ 地形や気候については、多角的なデータが多い。</p> <p>○ 円グラフなどが多く、客観的データから、当時の状況に迫る学習になる。</p> <p>△ 3年地図学習では、埋め立て地についてなど、内容が深掘りされすぎている。</p> <p>＜学習指導要領に定められた学習内容に対して、情報量が適切であり、内容の精選がされているか？について＞</p> <p>○ 絵や図、写真が多くわかりやすい工夫がされている。</p> <p>△ 食料生産に関する選択では、果物、野菜、畜産を採りあげているが、内容量がそれぞれ違い、畜産の内容量が多すぎるため、精選が必要である。</p>